

8

骨粗しょう症検診

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 対 象

中学生

3] 判定基準

	異常認めず	要指導	要精検
同一年齢平均骨量	90%以上	80%～89%	80%未満

2 実施状況

表1 判定別実施状況

		受診者数	異常なし (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
中学1年生	男	47	41 (87.2)	6 (12.8)	0 (0.0)
	女	34	28 (82.4)	6 (17.6)	0 (0.0)
	計	81	69 (85.2)	12 (14.8)	0 (0.0)
中学3年生	男	47	45 (95.7)	2 (4.3)	0 (0.0)
	女	33	31 (93.9)	2 (6.1)	0 (0.0)
	計	80	76 (95.0)	4 (5.0)	0 (0.0)
総 数	男	94	86 (91.5)	8 (8.5)	0 (0.0)
	女	67	59 (88.1)	8 (11.9)	0 (0.0)
	計	161	145 (90.1)	16 (9.9)	0 (0.0)